

●話題の新製品探訪…… **Guo Flute** “New Voice” Flutes

[ゴ-ミュージカル・インストゥルメンツ] ニュー・ボイス フルートC管&G管

軽量で手軽に吹けるだけでなく、音も良いとなれば…  
吹いてびっくりに！台湾から樹脂製フルート登場



●ドルチェ楽器東京店で。

同社によれば、このフルートは円筒管部分と円錐管部分との比率が通常のベームフルートとは異なるそうで、「次世代のベームフルート」と自慢している。形状では足部管の末端がやや拡がり、頭部管の末端が

「おもちゃ」だと思つて手に取つた人は響きや音程の良さに驚くはずだ。なぜ今までこうした樹脂製フルートが作られて来なかったのかと不思議に思う人も多いに違いない。

楽器としての完成度は非常に高く、「おもちゃ」だと思つて手に取つた人は響きや音程の良さに驚くはずだ。なぜ今までこうした樹脂製フルートが作られて来なかったのかと不思議に思う人も多いに違いない。

ゴ-フルートとして知られる台湾のフルートメーカー「ゴ-ミュージカル・インストゥルメンツ」(GUO MUSICAL INSTRUMENTS Co.) から樹脂製のフルートが発売されているのをご存知だろうか。グレナディエラに近い比重を持つという「グレナディエテ(Grenadite)」と呼ぶ樹脂製のピッコロが発売されたのが2004年(ちなみにパール・フルートも同素材のピッコロを作っている)。2006年にはフルートも登場し、教育用フルートとしてだけでなく、プロや上級者たちにも歓迎された。さらに昨年発売されたのが、ここに紹介する「ニュー・ボイス」シリーズで、グレナディエテよりは軽量の樹脂で作られ、色も4色を揃えている。



重量がと  
ても軽  
いため  
(通常の洋銀フルートは約400g前後、ニューボイスC管は250g、グレナディエテC管は340g) 楽器の抵抗

すり鉢状に凹んでいることが目に付く。

外見からはいかに「ブラ管」的な音をイメージするが、どうしてどうして、

サウンドは正にフルートのものだ。



●パッドはシリコン製

フルートと全く同じ構造を持ち、調整ネジもあるのでキーバランスの調整も可能だ。パッドはシリコン製。

さらに注目されるのは、今月の表紙も飾っているG管フルート(下の写真の下の楽器)。F管フルートは日本のコタト・フルートからも出ているが、G管フルートというのは珍しい。G管フルートフルートの1オクターブ上を担うアンサンブル楽器としての用途を狙ったものかも知れない。取材したドルチェ楽器(東京店)でプロに吹いてもらったところ、その場にいた誰もがその優しく繊細な音色に魅せられてしまった。音量は大きくはないが、音は決して甲高くななく、柔らかく吹くとふんわりとしたメルヘン的な音が室内に漂った。

将来に定着しそうなフルートの新しい材質に、先鞭をつけた意味と、新しい教育用フルートを開拓したという意味でも大変に注目すべき楽器であることは間違いない。

●ドルチェ楽器が取り扱う予定。問い合わせは東京店: 03-5909-1771 大阪店: 06-6377-1117



●ニュー・ボイス・シリーズ。上がC管フルート、下がG管フルート。写真の楽器の色はオレンジ。グレナディエテ・シリーズも形は全く同じだ。